

Dell 32モニター

ユーザーガイド

モデル番号: UP3216Q
規制モデル: UP3216Qt



 **注意:** 注意は、コンピューターのより良い使用を助けるための重要な情報を示します。

 **警告:** 警告は、もし指示に従わない場合は、ハードウェアに対する損傷またはデータ損失が起こりうることを示します。

 **危険:** 危険は器物損壊、怪我、死亡に繋がる可能性を示します。

Copyright © 2015-2019 Dell Inc. All rights reserved. 本製品は米国および国際的な著作権法お

よび知的財産法で保護されています。

Dell™およびDellのロゴは、米国および/またはその他の地域におけるDell Inc.の商標です。ここに記載されているその他のマークおよび名称は、各社の商標である場合があります。

内容

1	お使いのモニターについて	5
	パッケージの内容	5
	製品の特徴	7
	部品とコントロールの識別	8
	モニターの仕様	11
	プラグアンドプレイ機能	20
	LCDモニター品質とピクセルポリシー	20
	お手入れのガイドライン	21
2	モニターの設定	22
	スタンドの取り付け	22
	モニターの接続	22
	ケーブルをまとめる	24
	ケーブルカバーの取り付け	25
	壁取り付け(オプション)	26
3	モニターの操作	27
	フロントパネルコントロールの使用	27
	オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューの使用	30
	傾き、スイベル、垂直延長を使用する	45
4	トラブルシューティング	46
	セルフテスト	46
	ビルトイン診断	47
	共通の問題	49
	製品固有の問題	51
	カードリーダーのトラブルシューティング	53

5 付録	55
⚠危険：安全上の注意	55
FCC通知(米国のみ)およびその他規制情報	55
Dellに連絡	55
モニタのセットアップ	56
画面解像度を3840×2160(最大)に設定する	56
Dellコンピューター	56
Dell-以外のコンピューター	56

お使いのモニターについて

パッケージの内容

モニターには下記で示されるコンポーネントが同梱されています。すべてのコンポーネントが含まれていることを確認し、何か足りない場合には[Dellに連絡](#)してください。

 **注意:**一部の品目はオプションで、モニターには同梱されていないことがあります。ご使用の国によっては、一部の機能またはメディアが利用できないことがあります。

 **注意:**他のスタンドでセットアップする場合、セットアップ指示についてはそれぞれのスタンドセットアップガイドを参照してください。

	<ul style="list-style-type: none">モニター
	<ul style="list-style-type: none">スタンド
	<ul style="list-style-type: none">ケーブルカバー

	<ul style="list-style-type: none"> 電源ケーブル(国によって異なります)
	<ul style="list-style-type: none"> HDMI(MHL)ケーブル
	<ul style="list-style-type: none"> DisplayPortケーブル (Mini-DP対DP)
	<ul style="list-style-type: none"> USB 3.0アップストリームケーブル(モニターのUSBポートを有効にします)
	<ul style="list-style-type: none"> 簡単セットアップガイド 安全規制情報 工場調整レポート

製品の特徴

Dell 32モニター(モデル番号UP3216Q)は、アクティブマトリクス、薄膜トランジスター(TFT)、液晶ディスプレイ(LCD)、LEDバックライトを有します。モニターの特徴は次のとおりです。

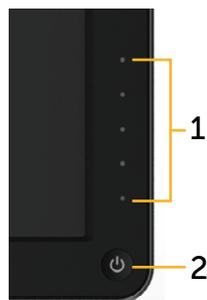
- 80.1 cm (31.5インチ)アクティブ領域は(対角に測定)解像度3840 x 2160(低解像度では前画面表示をサポート)で表示します。
- 傾き、スイベル、垂直延長調整機能。
- 取り外し可能な台座と柔軟な取り付けを可能にするVESA™(ビデオエレクトロニクススタンダードアソシエーション) 100mm取り付け穴。
- プラグアンドプレイ機能(システムでサポートされている場合)
- 簡単な設定と画面の最適化を行うためのオンスクリーンディスプレイ(OSD)調整。
- セキュリティロックスロット。
- アセットマネージメント機能。
- RoHS準拠。
- BFR/PVCを含まないモニター(ケーブルを除く)。
- ヒ素を含まないガラスとパネルのみ水銀を含まず。
- エネルギーゲージは、モニターが消費しているエネルギーレベルをリアルタイムで表示します。
- TCO認定ディスプレイ。

部品とコントロールの識別

前面ビュー



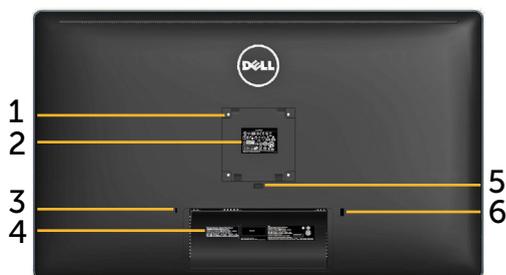
前面ビュー



フロントパネルコントロール

ラベル	説明
1	機能ボタン(詳細については、 モニターの操作 を参照してください)
2	電源オン/オフボタン(LEDランプあり)

背面ビュー



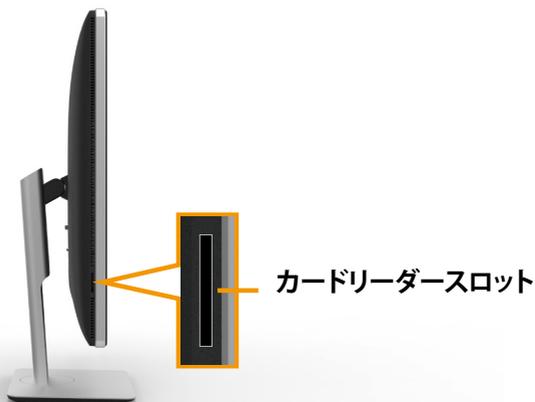
背面ビュー



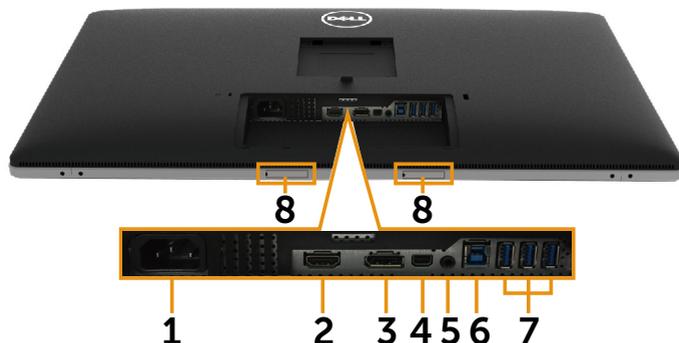
モニタースタンドを取り付けた背面ビュー

ラベル	説明	目的
1	VESA取り付け穴(100 mm x 100 mm - 取り付けられたVESAカバーの後ろ)	VESA互換の壁取り付けキット(100 mm x 100 mm)を使用する壁取り付けモニター。
2	規制ラベル	規制承認をリストします。
3	セキュリティロックスロット	セキュリティケーブルロックでモニターを固定します。
4	バーコードシリアル番号ラベル	技術サポートを受けるためにDellに連絡する際に、このラベルを参照します。
5	スタンドリリースボタン	モニターからスタンドを解除します。
6	バッテリー充電対応のUSBダウンストリームポート	USBデバイスを接続します。USBケーブルをお使いのコンピューターおよびモニターのUSBアップストリームコネクタに接続した場合のみ、このコネクタを使用することができます。
7	ケーブル管理スロット	スロットを通して配置することで、ケーブルをまとめるために使用します。

側面ビュー



底面ビュー



ラベル	説明	目的
1	AC電源コネクタ	モニターの電源ケーブルを接続します。
2	HDMI(MHL)コネクタ	お使いのコンピューターをHDMI(MHL)ケーブルで接続します。
3	DisplayPort入力コネクタ	お使いのコンピューターをDPケーブルで接続します。
4	ミニDisplayPort入力コネクタ	お使いのコンピューターをミニDP対DPケーブルで接続します。
5	音声ライン出力ポート	HDMIまたはDPオーディオチャンネルからの再生オーディオをスピーカーに接続します。 2チャンネルオーディオのみサポートしています。 注意: オーディオライン出力ポートは、ヘッドフォンをサポートしていません。
6	USBアップストリームポート	モニターに付属するUSBケーブルをコンピューターに接続します。このケーブルが接続されると、モニターのUSBダウンストリームコネクタを使用することができます。
7	USBダウンストリームポート	USBデバイスを接続します。USBケーブルをお使いのコンピューターおよびモニターのUSBアップストリームコネクタに接続した場合のみ、このコネクタを使用することができます。
8	Dellサウンドバー取り付けスロット	オプションのDellサウンドバーを取り付けます。 注意: デルサウンドバーを取り付ける前に取付スロットを覆っているプラスチックのカバーを取り除いて下さい。

モニターの仕様

平面パネルの仕様

スクリーンタイプ	アクティブマトリクス - TFT LCD
パネルタイプ	プレーン内切り替え
表示可能画像寸法 対角 水平 垂直	80.1 cm (表示可能画像サイズ31.5インチ) 697.9 mm (27.5インチ) 392.6 mm (15.5インチ)
ピクセルピッチ	0.182 mm
視野角	178°(垂直)標準、178°(水平)標準
輝度出力	300cd/m ² (標準値)
コントラスト比	1000:1 (標準値)
ダイナミックコントラスト比	2,000,000:1
表面コート	ハードコーティング3Hと反射防止
バックライト	LEDエッジライト方式
応答時間	8ms (標準)、6 ms (高速モード)
色深度	1.0737 B (10ビット)
色域 (標準値)	100% (sRGB) 99.5% (Adobe RGB)

解像度の仕様

水平スキャン範囲	30 kHzから140 kHz (自動)
垂直スキャン範囲	24 Hzから75 Hz (自動)
最大解像度	3840x2160、60Hz

ビデオでサポートされるモード

ビデオ表示機能(HDMI再生)	480p、576p、720p、1080p、2160p
-----------------	----------------------------

プリセットディスプレイモード

ディスプレイモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	周波数 (MHz)	同期極性 (水平/垂直)
720×400	31.5	70.0	28.3	-/+
640×480	31.5	60.0	25.2	-/-
640×480	37.5	75.0	31.5	-/-
800×600	37.9	60.0	40.0	+/+
800×600	46.9	75.0	49.5	+/+
1024×768	48.4	60.0	65.0	-/-
1024×768	60.0	75.0	78.8	+/+
1152×864	67.5	75.0	108.0	+/+
1280×800	49.3	60.0	71.0	+/+
1280×1024	64.0	60.0	108.0	+/+
1280×1024	80.0	75.0	135.0	+/+
1600×1200	75.0	60.0	162.0	-/+
1920×1080	67.5	60.0	193.5	+/+
2048×1152	71.6	60.0	197.0	+/-
2560×1440	88.8	60.0	241.5	+/-
3840×2160	65.68	30.0	262.75	+/+
3840×2160	133.313	60.0	533.25	+/+

電氣的仕様

ビデオ入力信号	100Ωインピーダンスの差動ライン、プリアンプライン用デジタルビデオ信号。HDMI1.4/HDMI2.0(MHL2.0)信号入力サポート
AC入力電圧/周波数/電流	100VAC～240VAC/50Hzまたは60Hz ± 3Hz/1.7 A (最大)
突入電流	120 V:30 A (最大) 240 V:60 A (最大)

物理特性

コネクタタイプ	HDMI(MHL)コネクタ。 DisplayPortコネクタ。 ミニDisplayPortコネクタ。 USB 3.0アップストリームポートコネクタ。 USB 3.0ダウンストリームポートコネクタ x 4個。 (稲妻のアイコン  の付いたポートはBC 1.2用です)
シグナルケーブルタイプ	HDMI 1.8 mケーブル。 DisplayPort対ミニDisplayPort 1.8 mケーブル。 USB 3.0 1.8 mケーブル。
寸法(スタンドあり)	
高さ(延長)	572.4 mm (22.5インチ)
高さ(圧縮)	482.6 mm (19.0インチ)
幅	749.9 mm (29.5インチ)
奥行き	214.0 mm (8.4インチ)
寸法(スタンドなし)	
高さ	444.6 mm (17.5インチ)
幅	749.9 mm (29.5インチ)
奥行き	51.5 mm (2.0インチ)
スタンド寸法	
高さ(延長)	418.1 mm (16.5インチ)
高さ(圧縮)	381.8 mm (15.0インチ)
幅	250.0 mm (9.8インチ)
奥行き	214.0 mm (8.4インチ)
重量	
重量(パッケージ含む)	15.2 kg (33.44ポンド)
重量(組み立てスタンドとケーブル含む)	11.2 kg (24.64ポンド)
重量(組み立てスタンドなし) (壁取り付けまたはVESAマウントを考慮。ケーブルなし)	8.6 kg (18.92ポンド)
組み立てスタンドの重量	2.6 kg (5.72ポンド)
フロントフレーム光沢	黒フレーム - 13.0光沢単位(最高)

環境特性

温度	
動作	0 °C～35 °C
非動作	保管時: -20 °C～60 °C (-4°F～140°F) 出荷時: -20 °C～60 °C (-4°F～140°F)
湿度	
動作	10%から80% (結露なし)
非動作	保管時: 5%から90% (結露なし) 出荷時: 5%から90% (結露なし)
高度	
動作	最高5,000m (16,400フィート)
非動作	最高12,191m (40,000フィート)
熱出力	443.80BTU/時(最大) 204.80BTU/時(標準値)

電源管理モード

お使いのPCにVESAのDPM™準拠ディスプレイカードまたはソフトウェアがインストールされている場合、モニターが使用中でないときには、自動的に消費電力を低減します。これは電源セーブモード*です。コンピューターがキーボード、マウス、その他の入力デバイスからの入力を検出すると、モニターは自動的に機能を再開します。次の表は消費電力とこの自動省電力機能の信号を示しています。

VESAモード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源ランプ	消費電力
通常動作	アクティブ	アクティブ	アクティブ	白	70 W (標準)/ 130 W (最大)**
アクティブオフモード	無効	無効	オフ	白く光る	0.3 W以下
スイッチオフ	-	-	-	オフ	0.3 W以下

消費電力 P _{on}	44.4 W
総エネルギー消費量 (TEC)	137.7 kWh

OSDは通常動作モードでのみ機能します。アクティブオフモードで任意のボタンを押すと、次のメッセージが表示されます。

PCからの信号なし。キーボードのキーをどれでも押すか、マウスを動かすと復帰します。
何も表示されない場合は、今すぐモニタボタンを押して、オンスクリーンディスプレイメニューから正しい入力ソースを選択してください。

*OFFモードのゼロ消費電力は、モニターから電源ケーブルを抜いた場合のみ達成できます。

**最大輝度による最大消費電力とUSBアクティブ。

本書は情報提供のみを目的としており、実験室での性能を記載しております。お買い求めになった製品はご注文されたソフトウェア、コンポーネント、周辺機器によっては異なる性能を示すことがあります。かかる情報を更新する義務はその製品にありません。そのため、電気の許容範囲やその他について意志決定するとき、お客様はこの情報に頼るべきではありません。精度または完全性に関しては、明示的にも黙示的にも何の保証もありません。

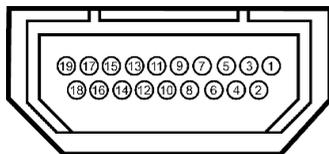
OSDにアクセスするためにコンピューターとモニターをアクティブにします。

注意:

P_{on}: ENERGY STAR試験方法に参照して計測された「オンモード」の消費電力。
TEC: ENERGY STAR試験方法に参照して計測されたkWh単位の総エネルギー消費量。

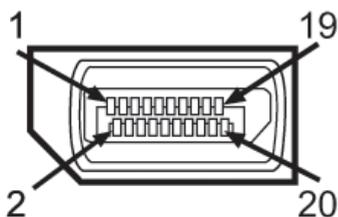
ピン割当

19ピンHDMIコネクタ



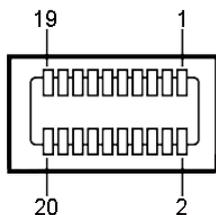
ピン番号	モニターコネクタの19ピン側	ピン番号	モニターコネクタの19ピン側
1	TMDSデータ2+	11	TMDSクロックシールド
2	TMDSデータ2シールド	12	TMDSクロック-
3	TMDSデータ2-	13	CEC
4	TMDSデータ1+	14	NC
5	TMDSデータ1シールド	15	DDCクロック (SCL)
6	TMDSデータ1-	16	DDCデータ (SDA)
7	TMDSデータ0+	17	グラウンド
8	TMDSデータ0シールド	18	+5V電源
9	TMDSデータ0-	19	ホットプラグ検出
10	TMDSクロック+		

DisplayPortコネクタ(DP入力とDP出力)



ピン番号	モニターコネクタの20ピン側	ピン番号	モニターコネクタの20ピン側
1	ML3(n)	11	GND
2	GND	12	ML0(p)
3	ML3(p)	13	GND
4	ML2(n)	14	GND
5	GND	15	AUX(p)
6	ML2(p)	16	GND
7	ML1(n)	17	AUX(n)
8	GND	18	HPD
9	ML1(p)	19	リターン
10	ML0(n)	20	+3.3V DP_PWR

ミニDisplayPortコネクタ



ピン番号	モニターコネクタの20ピン側	ピン番号	モニターコネクタの20ピン側
1	GND	11	ML2(p)
2	ホットプラグ検出	12	ML0(p)
3	ML3(n)	13	GND
4	CONFIG1	14	GND
5	ML3(p)	15	ML1(n)
6	CONFIG2	16	AUX(p)
7	GND	17	ML1(p)
8	GND	18	AUX(n)
9	ML2(n)	19	リターン
10	ML0(n)	20	+3.3V DP_PWR

ユニバーサルシリアルバス(USB)インターフェース

このセクションでは、モニターの背面および下部で利用できるUSBポートについての情報を提供します。

 **注意:** 本モニターのUSBポートはUSB 3.0に準拠しています。

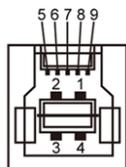
転送速度	データレート	消費電力
スーパースピード	5Gbps	4.5 W(最大、各ポート)
ハイスピード	480Mbps	2.5 W(最大、各ポート)
フルスピード	12Mbps	2.5 W(最大、各ポート)

 **注意:** BC 1.2準拠のデバイスのUSBダウンストリームポート(稲妻のアイコン



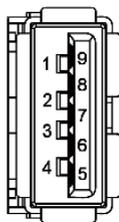
の付いたポート)で最大2 A、その他の3つのUSBダウンストリームポートで最大0.9 A

USBアップストリーコネクター



ピン番号	信号名
1	VBUS
2	D-
3	D+
4	GND
5	StdB_SSTX-
6	StdB_SSTX+
7	GND_DRAIN
8	StdB_SSRX-
9	StdB_SSRX+
シエル	シールド

USBダウンストリームコネクター



ピン番号	信号名
1	VBUS
2	D-
3	D+
4	GND
5	StdA_SSRX-
6	StdA_SSRX+
7	GND_DRAIN
8	StdA_SSTX-
9	StdA_SSTX+
シエル	シールド

USBポート

- 1xアップストリーム - 下部
- 4xダウンストリーム - 背面に1つ、下部に3つ

充電ポート - 背面カバーのポート(稲妻のアイコンの付いたポート)は、デバイスがBC 1.2に対応している場合、急速電流充電をサポートします。

 **注意:** USB3.0機能には、USB3.0対応のコンピューターおよびデバイスが必要です。

 **注意:** Windows® 7を実行しているコンピューターでは、サービスパック1 (SP1)のインストールが必要です。モニターのUSBインターフェースは、モニターの電源がオンまたは省電力モードのときだけ動作します。モニターの電源を切り、その後オンにした場合、接続された周辺機器は、通常の動作を再開するまでに数秒かかることがあります。

カードリーダーの仕様

概要

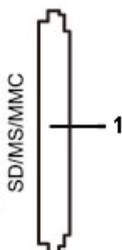
- フラッシュメモリーカードリーダーは、メモリーカードとの間で情報を読み取りおよび書き込みを行うことを可能にするUSBストレージデバイスです。
- フラッシュメモリーカードリーダーは、Microsoft® Windows® 7 サービスパック1 (SP1) およびWindows® 8/Windows® 8.1/Windows® 10により自動的に認識されます。
- 一度インストールして認識されると、メモリーカード(スロット)のドライブ文字が表示されます。
- すべての標準のファイル操作(コピー、削除、ドラッグアンドドロップなど)はこのドライブを使用して実行できます。

 **注意:** メモリーカードをカードスロットに挿入したときにメモリーカードが適切に検出されるように、カードリーダードライバをインストールします。

機能

フラッシュメモリーカードリーダーには以下の機能が含まれています。

- Microsoft® Windows® 7 サービスパック1 (SP1) およびWindows® 8/Windows® 8.1/Windows® 10オペレーティングシステムをサポート。
- マスストレージクラス対応のデバイス(Microsoft® Windows® 7 サービスパック1 (SP1) およびWindows® 8/Windows® 8.1/Windows® 10ではドライバ不要)。
- 様々なメモリーカードメディアをサポート。



以下の表はサポートされるメモリーカード示しています。

スロット番号	フラッシュメモリーカードのタイプ
1	MS Pro HG、高速メモリスティック(HSMS)、Memory Stick PRO (MSPRO)、Memory Stick Duo (アダプタ付き)、MS Duo Secure Digital (Mini-SD)、Secure Digital Card、Mini Secure Digital (アダプタ付き)、TransFlash (SD、SDHCなど)、MultiMediaCard (MMC)

UP3216Qカードリーダーによりサポートされる最大カード容量

カードタイプ	サポート仕様	仕様でサポートされる最大容量	UP3216Q
MS Pro HG	Memory Stick Pro-HGはUSB 3.0の速度をサポート	32 GB	対応
MS Duo	Memory Stick Duo仕様	32 GB	対応
SD	SD Memory CardはUSB 3.0の速度をサポート	1 TB	対応
MMC	Multi Media Cardシステム仕様	32 GB	対応

一般

接続タイプ	USB 3.0高速デバイス(USB高速デバイス対応)
サポートされるOS	Microsoft® Windows® 7 サービスパック1 (SP1) および Windows® 8/Windows® 8.1/Windows® 10

プラグアンドプレイ機能

任意のプラグアンドプレイ互換システムにモニターをインストールすることができます。モニターは自動的にコンピューターにディスプレイデータチャンネル (DDC) プロトコールを使用した拡張ディスプレイ識別子データ (EDID) を提供し、システムは自身を構成し、モニター設定を最適化します。ほとんどのモニターのインストールは自動です。希望があれば、別の設定を選択できます。モニター設定の変更に関する詳細については、[モニターの操作](#)を参照してください。

LCDモニター品質とピクセルポリシー

LCDモニター製造プロセスでは、1つ以上のピクセルが不変状態で固定されてしまうことは珍しくありません。これらは確認することは難しく、ディスプレイの品質や使いやすさには影響しません。Dellモニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dellサポートサイト <http://www.dell.com/support/monitors>を参照してください。

お手入れのガイドライン

モニターの清掃

⚠ 危険: モニターを清掃する前に、[安全上の注意](#)を読んで、これに従ってください。

⚠ 危険: モニターを清掃する前に、コンセントからモニターの電源ケーブルを抜いてください。

モニターの開梱、清掃、取り扱いの際には、次の一覧にある手順に従うことを推奨します。

- 静電防止スクリーンを清掃するには、柔らかい清潔な布を水でわずかに湿らせます。できれば、スクリーン清掃専用のティッシュまたは静電防止コーティング専用の洗剤を使用して下さい。ベンジン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、圧縮空気は使用しないで下さい。
- モニターの清掃には、わずかに湿らせた柔らかい布を使用します。乳状の薄膜がモニター表面に残ることがあるので、洗剤は使用しないでください。
- モニターを開梱する際、白い粉があった場合には、布で拭いて下さい。
- モニターは注意して取り扱って下さい。黒い色のモニターは引っ掻くと白い擦り傷が残り、明るい色のモニターより目立ちます。
- モニターの最高画像品質を維持するために、動的に変化するスクリーンセーバーを使用し、使用しないときにはモニターの電源を切ってください。

モニターの設定

スタンドの取り付け

-  **注意:** 工場からモニターが出荷される際には、スタンドは取り外されています。
-  **注意:** これは、スタンド付きモニターに適用されます。他のスタンドをご購入された場合、セットアップ指示についてはそれぞれのスタンドセットアップガイドを参照してください。



モニタースタンドを取り付けるには:

1. カバーを取り外し、スタンドの上にモニターを設置します。
2. スタンド上部の2つのタブをモニター背面の溝に合わせます。
3. スタンドが所定の位置にはめ込まれるまで押します。

モニターの接続

 **危険:** このセクションの手順を始める前に、[安全上の注意](#)に従ってください。

モニターをコンピューターに接続するには:

1. コンピューターの電源を切り、電源ケーブルを切断します。
2. 黒いHDMIケーブルまたはDP (DisplayPort)ケーブルをお使いのコンピューターの背面にある対応するビデオポートに接続します。
同じコンピューターにすべてのケーブルを使用しないでください。
適切なビデオシステムを持つ異なるコンピューターに接続されている場合にのみ、すべてのケーブルを使用します。

黒いHDMIケーブルの接続



黒いDisplayPort (またはminiDP)ケーブルの接続



USB 3.0ケーブルの接続

HDMI/DP/mini DPケーブルの接続を完了した後、以下の手順に従ってUSB 3.0ケーブルをコンピューターに接続し、モニターの設定を完了します。

1. アップストリームUSB 3.0ポート(ケーブルは同梱)をお使いのコンピューターの適切なUSB 3.0ポートに接続します。(詳細については、[底面ビュー](#)を参照してください。)
2. USB 3.0周辺機器をモニターのダウンストリームUSB 3.0ポートに接続します。
3. お使いのコンピューターおよびモニターの電源ケーブルを近くのコンセントに差し込みます。
4. モニターとコンピューターの電源を入れます。
モニターに画像が表示される場合、取り付けは完了です。モニターに画像が表示されない場合は、[トラブルシューティング](#)を参照してください。
5. モニタースタンドのケーブルスロットを使用して、ケーブルをまとめます。



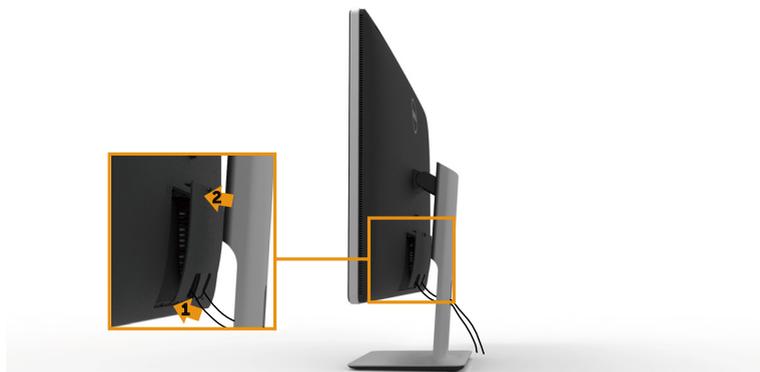
△ 警告:この図は例示のためにのみ使われています。コンピューターの外観は異なることがあります。

ケーブルをまとめる



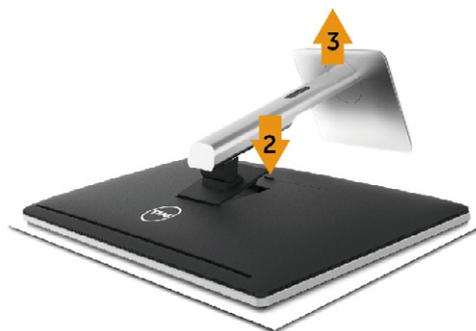
すべての必要なケーブルをモニターとコンピューターに接続後、(ケーブルの接続については、[モニターの接続](#)を参照)、ケーブル管理スロットを使用して、上の図のようにケーブルをまとめます。

ケーブルカバーの取り付け



スタンドの取り外し

-  **注意:** スタンドを取り外している間にLCD画面に傷が付かないように、モニターをきれいな面に置いていることを確認してください。
-  **注意:** これは、スタンド付きモニターに適用されます。他のスタンドをご購入された場合、セットアップ指示についてはそれぞれのスタンドセットアップガイドを参照してください。



スタンドを取り外すには:

1. 平らな面にモニターを設置します。
2. スタンドのリリースボタンを押し続けます。
3. スタンドを持ち上げ、モニターから離します。

壁取り付け(オプション)



(ねじ寸法: M4 x 10 mm)。

VESA互換の壁取り付けキットに付属する指示を参照してください。

1. モニターパネルを、柔らかい布またはクッションを敷いた安定した平らなテーブルの上に置きます。
2. スタンドを取り外します。
3. ドライバを使って、プラスチックカバーを固定している4つのねじを外します。
4. 壁取り付けキットからモニターに取り付けブラケットを取り付けます。
5. 壁取り付けキットに付属する取扱説明書に従って、壁にモニターを取り付けます。

注意: UL、CSA、GSリストの壁掛けブラケット使用のみ、最小負荷重量8.6kg (18.92ポンド)。

モニター の 操作

フロントパネルコントロールの使用

表示する画像の特性を調整するには、モニターの前面にあるコントロールボタンを使用します。これらのボタンを使用してコントロールを調整すると、変更に伴い特性の数値がOSDに表示されます。



次の表は、前面パネルのボタンを説明しています。

フロントパネルボタン		説明
1	 ショートカットキー/ プリセットモード	このボタンを使用して、プリセットカラーモードの一覧から選択することができます。
2	 ショートカットキー/ 輝度/コントラスト	このボタンを使用して、 輝度/コントラスト メニューに直接アクセスします。

3	 入力信号	モニターに接続された異なるビデオ信号間を選択するには、 入力ソース ボタンを使用します。 <ul style="list-style-type: none"> • DisplayPort入力 • ミニDisplayPort入力 • HDMI(MHL)入力 ソース選択バーを表示します。◀および▶ボタンを使用して、設定オプション間を移動し、✔を押して、必要な入力ソースを選択します。
4	 メニュー	メニュー ボタンを使用して、オンスクリーンディスプレイ(OSD)を起動し、OSDメニューを選択します。 メニューシステムにアクセス を参照してください。
5	 終了	終了 ボタンを使用して、メインメニューに戻ったり、OSDメインメニューを終了します。
6	 電源(電源ライトインジケータ付き)	電源 ボタンを使用して、モニターをオンにしたりオフにしたりします。 白いLEDは、モニターの電源が入り、完全に機能することを示しています。 白く光るLEDは、DPMS省電力モードを示しています。

フロントパネルボタン

画像の設定を調整するには、モニターの前面にあるボタンを使用します。



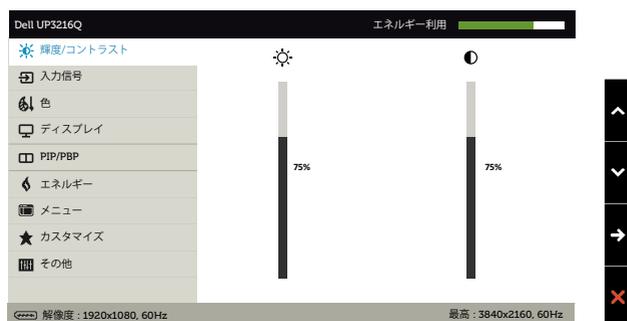
フロントパネルボタン		説明
1	 上	OSDメニューでアイテムを調節(範囲を広げる)には、 上 ボタンを使用します。
2	 下	OSDメニューでアイテムを調節(範囲を狭める)には、 下 ボタンを使用します。
3	 OK	選択を確定するには OK ボタンを使用します。
4	 戻る	前のメニューに戻るには、 戻る ボタンを使用します。

オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューの使用

メニューシステムにアクセス

 **注意:** 設定を変更した場合、別のメニューに進むかOSDメニューを終了すると、モニターはこれらの変更を自動的に保存します。設定を変更してからOSDメニューが消えるまで待つと、変更も保存されます。

1. OSDメニューを起動し、メインメニューを表示するには、**メニュー**ボタンを押します。



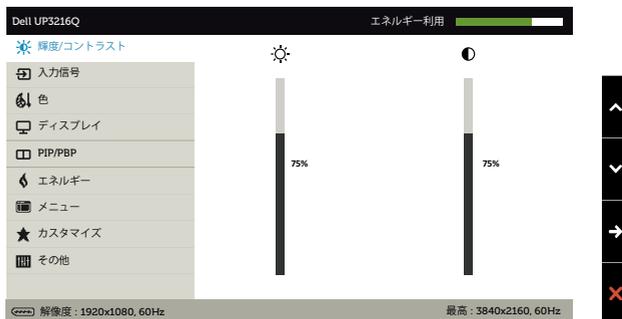
2. とボタンを押して、設定オプション間を移動します。別のアイコンに移動すると、オプション名がハイライトされます。モニターで使用可能なすべてのオプションの完全な一覧については、以下の表を参照してください。
3. またはボタンを1回押して、ハイライトしたオプションをアクティブにします。
4. 希望のパラメーターを選択するには、とボタンを押します。
5. ボタンを押してサイドバーに入り、メニューのインジケータに応じて、またはボタンを使用して変更します。
6. メインメニューに戻り別のオプションを選択するにはボタンを1回押します。また、ボタンを2、3回押すと、OSDメニューが終了します。

アイコン	メニューとサブメニュー	説明
------	-------------	----

エネルギー利用 このメーターは、モニターが消費しているエネルギーレベルをリアルタイムで表示します。



輝度/コントラスト このメニューを使用して、**輝度/コントラスト**調整をアクティブにします。



輝度 輝度はバックライトの明るさを調整します。

⬆️ ボタンを押して輝度を増加させ、⬇️ ボタンを押して、輝度を下げます (最小0から最大100まで)。

注意: 輝度の手動による調整は、**動的コントラスト**がオンになっているとき、および、**プリセットモード**が**CAL1**または**CAL2**に設定されているときには無効になります。

コントラスト 輝度を最初に調整し、次にさらに調整が必要な場合にのみ、**コントラスト**を調整します。

⬆️ ボタンを押してコントラストを増加させ、⬇️ ボタンを押して、コントラストを下げます (最小0から最大100まで)。

コントラストは、モニター画面の暗い部分と明るい部分との明暗の差を調整します。

注意: **コントラスト**の手動による調整は、**プリセットモード**が**CAL1**または**CAL2**に設定されているときには無効になります。



入力信号

モニターに接続された異なるビデオ信号間を選択するには、**入力ソースメニュー**を使用します。



自動選択

を使用して[自動選択]を選択すると、モニターは利用可能な入力ソースをスキャンします。

DP

DisplayPort(DP)コネクタを使用している場合は、**DisplayPort**入力を選択します。ボタンを押して、DisplayPort入力ソースを選択します。

mDP

ミニDisplayPort(mDP)コネクタを使用している場合は、**ミニDisplayPort**入力を選択します。ボタンを押して、ミニDisplayPort入力ソースを選択します。

HDMI(MHL)

HDMI(MHL)コネクタを使用している場合は、**HDMI(MHL)**入力を選択します。ボタンを押して、HDMI(MHL)入力ソースを選択します。



色

モニターの色設定を調整するには、**色設定メニュー**を使用します。



入力カラー形式 ビデオ入力モードを以下に設定可能です。

- **RGB:** モニターがHDMIやDP/Mini DPケーブルを使用してコンピューターやDVDプレイヤーと接続されている場合に、このオプションを選択します。
- **YPbPr:** お使いのDVDプレイヤーがYPbPr出力のみをサポートしている場合にこのオプションを選択します。

ガンマ ガンマを**PC**または**MAC**に設定できます。

プリセットモード プリセットカラーモードの一覧から選択することができます。



- **標準:** モニターのデフォルトカラー設定を読み込みます。これはデフォルトのプリセットモードです。
- **マルチメディア:** マルチメディアアプリケーション用のカラー設定を読み込みます。CEAタイミング(YUVカラー領域)を持つHDMI入力にのみ適用されます。
- **ムービー:** 映画に最適なカラー設定を読み込みます。CEAタイミング(YUVカラー領域)を持つHDMI入力にのみ適用されます。
- **ゲーム:** ほとんどのゲームアプリケーションに最適なカラー設定を読み込みます。
- **用紙:** テキストを表示するのに最適な輝度とシャープネス設定を読み込みます。テキストの背景をブレンドしてカラー画像に影響を与えずに用紙メディアをシミュレーションします。RGB入力形式にのみ適用されます。
- **色温度:** 画面はスライダーを5,000Kに設定すると、赤/黄色の色合いを持つ暖かい表示になります。また、スライダーを10,000Kに設定すると、青の色合いを持つ涼しい表示になります。
- **色空間:** 色空間を **Adobe RGB, sRGB, DCI-P3, REC709, CAL1, CAL2.**



- **Adobe RGB:** このモードはAdobe RGB (カバー率99.5%)に対応しています。
- **sRGB:** sRGBを100%エミュレーションします。
- **DCI-P3:** このモードではデジタルシネマ向けカラー基準DCI-P3を87%再現します。
- **REC709:** このモードではREC709規格に100%準拠します。

- **CAL1/CAL2:** Dell Color Calibration Softwareまたは他のDell承認のソフトウェアを使用してユーザーが校正したプリセットモード。Dell Color Calibration SoftwareはX-rite比色計i1Display Proと連動します。i1Display Proは、Dell Electronics、ソフトウェアとアクセサリのWebサイトから購入できます。

注意: sRGB、Adobe RGB、DCI-P3、REC709、CAL1およびCAL2の精度はRGB入力色形式に最適化されています。sRGBおよびAdobe RGBの最適な色精度用には、**統一性補正をオフ**にします。

注意: 出荷時の設定に戻すを使用すると、CAL1およびCAL2の校正済みデータが削除されます。

- **ユーザーカラー:** 手動でカラー設定を調整することができます。▲と▼ボタンを押して、赤、緑、青の値を調整し、独自のプリセットカラーモードを作成します。

▲と▼ボタンを使用して、利得、オフセット、色合い、彩度を選択します。



- **利得:** 選択して入力RGB信号の利得レベルを調整します(デフォルト値は100)。
- **オフセット:** 選択してRGBブラックレベルオフセット値(デフォルト値は50)を調整し、モニターの基調色をコントロールします。
- **色相:** 選択して入力RGBCMY色合い値を個別に調整します(デフォルト値は50)。
- **彩度:** 選択して入力RGBCMY彩度値を個別に調整します(デフォルト値は50)。

帯状の色空間	画面の左半分と右半分に異なる色空間を表示することができます。 帯状の色空間 をオンにすると、右半分は現在選択されている色空間を維持します。左半分の色空間は一覧のオプションを使用して選択できます。
	<ul style="list-style-type: none"> • オフ: 帯状の色空間機能を無効にします。 • Adobe RGB: このモードはAdobe RGB (カバー率99.5%)に対応しています。 • sRGB: sRGBを100%エミュレーションします。 • DCI-P3: このモードではデジタルシネマ向けカラー基準DCI-P3を87%再現します。 • REC709: このモードではREC709規格に100%準拠します。 • CAL1/CAL2: Dell Color Calibration Softwareまたは他のDell承認のソフトウェアを使用してユーザーが校正したプリセットモード。Dell Color Calibration SoftwareはX-rite比色計i1Display Proと連動します。i1Display Proは、Dell Electronics、ソフトウェアとアクセサリのWebサイトから購入できます。
	<p>注意: 帯状の色空間をオンにすると、画面の左側は右側の輝度設定を採用します。さらに、工場出荷時の統一性補正と動的コントラストが無効になります。</p>
	<p>注意: 最適な色精度を確保するために、CAL1またはCAL2を校正した後に、コントラストまたは輝度を調整することはお勧めしません。帯状の色空間をオンにする前に、CAL1とCAL2を同じ希望の明るさのレベルに校正しておくことをお勧めします。</p>
コントラスト(2)	<p>帯状の色空間またはPIP/PBPモードまたは両方がオンになっているときに、画面の左側のコントラストを調整できます。</p>
色のリセット	<p>モニターの色設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。</p>



ディスプレイ

画面設定を使用して画像を調整します。



アスペクト比

画像比を**ワイド16:9**、**自動サイズ変更**、**4:3**、または**1:1**に調整します。

シャープネス

これは画像をシャープまたはソフトにする機能です。
⬆️または⬆️を使用して、シャープネスを'0'～'100'で調整します。

動的コントラスト

動的コントラストにより、コントラスト比が2,000,000 : 1。

⬆️ボタンを押して、動的コントラストを「オン」または「オフ」に選択します。

動的コントラストを使用すると、ゲームモードおよびムービーモードを選択するときにより高いコントラストを得ることができます。

応答時間

応答時間は、標準または高速に設定することが可能です。

統一性補正

画面の輝度および色の統一性補正設定を選択します。**調整済み**は工場出荷時のデフォルトの調整済み設定です。

統一性補正を使用すると、画面の異なる領域を中心に對して調整し、画面全体で統一の取れた輝度と色を達成することができます。

HDMI2.0

HDMI1.4/HDMI2.0スイッチ用。

注意: HDMI2.0を選択する前に、お使いのグラフィックカードがこれらの機能をサポートしているか確認してください。

設定を誤ると画面が真っ黒になる場合があります。

ディスプレイ情報 モニターの現在の設定を表示します。

画面のリセット このオプションを選択し、デフォルトのディスプレイ設定に戻します。



PIP/PBP

この機能は別の入力ソースから取り込んだ画像が表示されたウィンドウを映し出します。そのため、異なるソースからの2つの画像を同時に表示することができます。

DC/AC出力サイクル中は、「主電源」信号がない場合のみPIP/PBP設定が無効になります。



右ウィンドウ(入力ソースから選択)	左ウィンドウ(PIP/PBP 入力から選択)		
	ミニDP	DP	HDMI(MHL)
ミニDP	X	X	√
DP	X	X	√
HDMI(MHL)	√	√	X

PIP/PBPモード PBP(ピクチャーバイピクチャー)モデルをPIP小、PIP大、PBPアスペクト比、またはPBPフィルに調節します。オフを選択してこの機能を無効にすることができます。

PIP/PBP 入力 PIPまたはPBP機能を選択してください。

PIPサイズ 小または大のPIP/PBPウィンドウサイズを選択してください。

PIP位置 PIPサブウィンドウの位置を選択します。ブラウズするには"∧"または"∨"を使用し、左上、右上、右下、左下を選択するにはVを選択します。

交換 PIP/PBPソース切替用。

オーディオ PIP/PBP音声切替用。



エネルギー



LED電源ボタン 電源LEDランプのオン/オフを設定できます。

USB モニターがスタンバイモードに入っている間、USB機能の有効または無効の切り替えることができます。

注意: スタンバイモードでUSBオン/オフが利用できるのは、USBアップストリームケーブルが抜かれているときのみです。USBアップストリームケーブルが差し込まれているときには、このオプションはグレー表示になります。

モニターのスリープ モニターのスリープはオンまたはオフ設定が可能です。

エネルギーのリセット このオプションを選択して、デフォルトの**エネルギー設定**に戻します。



メニュー



言語 OSDディスプレイを8つの言語(英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語、日本語)の1つに設定する言語オプション。

回転	OSDを90度反時計回りに回転します。 ディスプレイの回転に従って、メニューを調整できません。
透明度	この機能は、OSDの背景を不透明から透明へ変更するために使用します。
タイマー	ボタンを最後に押した後、OSDがアクティブなままになっている時間を設定します。  と  ボタンを使用して、スライダーを1秒刻みで5～60秒で調整します。
ロック	ユーザーが調整にアクセスすることを制御します。ロックが選択されている場合、ユーザーは調整できません。すべてのボタンがロックされます。 注意: ロック機能 – ソフトロック (OSDメニューから) またはハードロック (電源ボタンの上にあるボタンを10秒間押し続ける) ロック解除機能 – ハードロックのみ (電源ボタンの上にあるボタンを10秒間押し続ける)
メニューのリセット	デフォルトのメニュー設定に戻すには、このオプションを選択します。



カスタマイズ

プリセットモード、輝度/コントラスト、入力ソース、アスペクト比、PIP/PBPモード、回転の中から機能を選択し、ショートカットキーとして設定することができます。



カスタマイズの リセット

ショートカットキーをリセットし、デフォルト設定に戻すことができます。



その他

DDC/CI、LCDコンディショニングなどOSD設定を調整するには、このオプションを選択します。

Dell UP3216Q エネルギー利用 [Progress Bar]

☼ 輝度/コントラスト	ボタンサウンド	オフ
📡 入力信号	DDC/CI	オン
🎨 色	LCD コンディショニング	オフ
🖥️ ディスプレイ	他のリセット	
📺 PIP/PBP	工場リセット	
🔋 エネルギー		
📄 メニュー		
★ カスタマイズ		
🏠 その他		

解像度 : 1920x1080, 60Hz 最高 : 3840x2160, 60Hz

ボタンサウンド

メニューで新しいオプションを選択するたびに、モニターでピーツという音がします。このボタンで音のオン/オフを切り替えます。

DDC/CI

DDC/CI (ディスプレイデータチャンネル/コマンドインターフェイス)により、コンピューターのソフトウェアを介してモニターのパラメータ (輝度、カラーバランスなど)を調整します。**無効にする**を選択することで、この機能をオフにできます。

最高のユーザーエクスペリエンスと最適なモニターパフォーマンスのために、この機能を有効にします。

Dell UP3216Q エネルギー利用 [Progress Bar]

☼ 輝度/コントラスト	DDC/CI	✓ オン
📡 入力信号		オフ
🎨 色		
🖥️ ディスプレイ		
📺 PIP/PBP		
🔋 エネルギー		
📄 メニュー		
★ カスタマイズ		
🏠 その他		

解像度 : 1920x1080, 60Hz 最高 : 3840x2160, 60Hz

LCD コンディショニング

残像の軽微な問題を低減することを助けます。残像の程度によっては、プログラムの実行に時間がかかる場合があります。**有効にする**を選択することで、この機能をオンにできます。



他のリセット

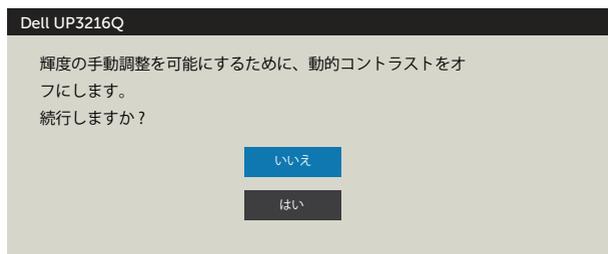
このオプションを選択すると、DDC/CIなどのその他のデフォルト設定に戻ります。

工場リセット

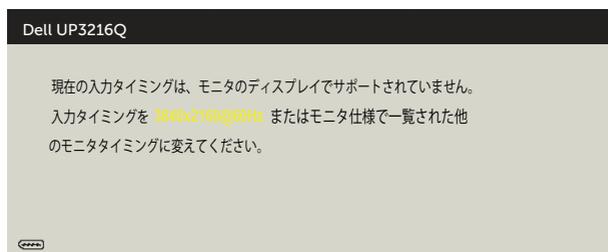
すべてのOSD設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。

OSD警告メッセージ

動的コントラストが有効に設定されている場合は(ゲームまたはムービーなどのプリセットモード)、手動による輝度調整は無効になります。

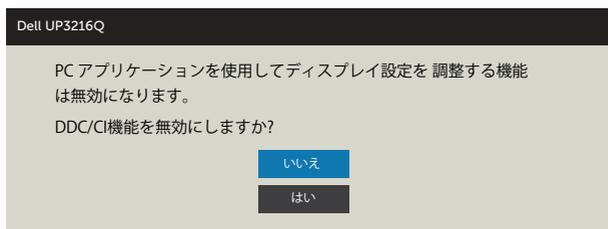


モニターが特定の解像度モードをサポートしない場合、次のメッセージが表示されません。

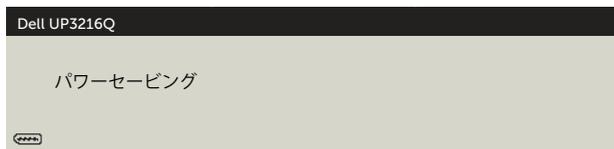


これはモニターがコンピューターから受け取る信号を同期できないことを意味しています。このモニターが使用できる水平および垂直周波数幅については、[モニターの仕様](#)を参照してください。推奨モードは3840 x 2160です。

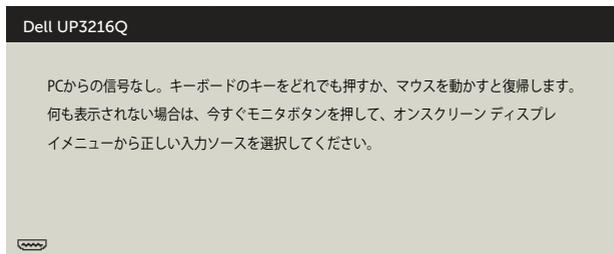
DDC/CI機能を無効にする前に、次のメッセージが表示されます。



モニターが**省電力モード**に入る際には、次のメッセージが表示されます。



OSDアクセスするには、コンピューターをアクティブにし、モニターを起動します。電源ボタン以外の任意のボタンを押すと、選択した入力に応じて、次のいずれかのメッセージが表示されます。



HDMI、DPまたはm-DP入力を選択されているが相当するケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。



または



または

mDPケーブルなし

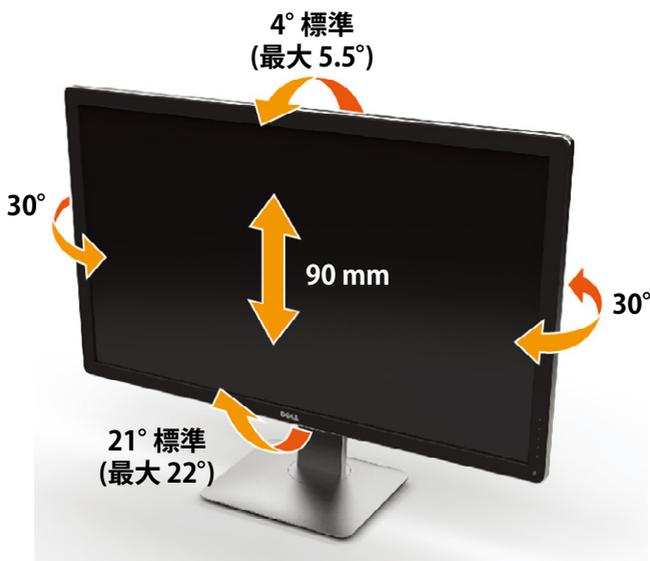
ディスプレイは5分以内に省電力モードに入ります。

www.dell.com/support/monitors

詳細については、[トラブルシューティング](#)を参照してください。

傾き、スイベル、垂直延長を使用する

注意: これは、スタンド付きモニターに適用されます。他のスタンドをご購入された場合、セットアップ指示についてはそれぞれのスタンドセットアップガイドを参照してください。



注意: 工場からモニターが出荷される際には、スタンドは取り外されています。

トラブルシューティング

△ **警告:**このセクションの手順を始める前に、[安全上の注意](#)に従ってください。

セルフテスト

モニターには、お使いのモニターが正しく機能しているかを確認できるセルフテスト機能があります。モニターとコンピューターが正しく接続されているにもかかわらず、モニター画面が黒いままの場合は、次のステップを実行し、モニターのセルフテストを実行してください。

1. コンピューターとモニターの両方の電源を切ります。
2. コンピューターの裏側からビデオケーブルを抜きます。
3. モニターの電源を入れます。

モニターがビデオ信号を感知せず、正しく動作する場合には、(黒色の背景に)フローティングダイアログボックスが画面に表示されるはずですが、セルフテストモードの間、電源LEDは白のまま点灯します。また、選択した入力に応じて、下に示されるダイアログボックスの1つが、画面をスクロールし続けます。



または



または

mDPケーブルなし

ディスプレイは5分以内に省電力モードに入ります。

www.dell.com/support/monitors

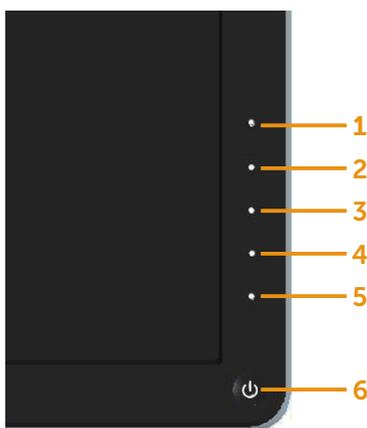
4. このボックスは、ビデオケーブルが切断または破損した場合にも、通常のシステム操作時に表示されます。
5. モニターの電源を切り、ビデオケーブルを再接続します。次に、コンピューターとモニターの両方の電源を入れます。

先の手順を使用しても、モニター画面がブランクのままの場合、モニターは正しく機能していますので、ビデオコントローラーとコンピューターをチェックして下さい。

ビルトイン診断

モニターはビルトイン診断ツールを持ち、画面の異常がモニターに内在する問題なのか、コンピューターやビデオカードの問題なのかを同定することに役立ちます。

注意: ビデオケーブルが抜かれ、モニターはセルフテストモードの場合のみ、ビルトイン診断を実行することができます。



ビルトイン診断を実行するには:

1. 画面が汚れていないことを確認します (画面の表面に埃がないこと)。
2. コンピューターまたはモニターの裏側からビデオケーブルを抜きます。モニターはセルフテストモードに入ります。
3. フロントパネルのボタン1とボタン4を同時に2秒間押し続けます。灰色の画面が表示されます。
4. 注意して画面の異常を調べます。
5. フロントパネルのボタン4をもう一度押します。画面の色が赤に変わります。
6. ディスプレイに異常がないか調べます。
7. ステップ5と6を繰り返し、緑、青、黒、白の画面で表示を調査します。

白い画面が現れると、テストは完了です。終了するには、もう一度ボタン4を押します。

ビルトイン診断ツールを使用して画面の異常を検出できない場合、モニターは正常に機能しています。ビデオカードとコンピューターを調べて下さい。

共通の問題

次の表の内容は、起こりうるモニターの問題と、可能な解決策についての一般情報です。

一般的な症状	何が発生するか	可能な解決策
ビデオなし/ 電源LEDが オフ	映像なし	<ul style="list-style-type: none">• モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。• 他の電子機器を使用して、電源コンセントが正しく機能していることを確認します。• 電源ボタンが完全に押されていることを確認します。• 入力ソースメニューで、正しい入力ソースが選択されているか確認します。• OSDメニューのエネルギー設定から、LED電源ボタンオプションを確認します。
ビデオなし/ 電源LEDが オン	画像または輝度がない	<ul style="list-style-type: none">• OSDから輝度とコントラストコントロールを上げます。• モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。• ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。• ビルトイン診断を実行します。• 入力ソースメニューで、正しい入力ソースが選択されているか確認します。
ピクセル抜け	LCDスクリーンにスポットがあります。	<ul style="list-style-type: none">• 電源を入れ直します。• ピクセルが永久的に抜けているのは、LCD技術では当然起こりうる欠陥です。• Dellモニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dellサポートサイト http://www.dell.com/support/monitorsを参照してください。
常時点灯ピクセル。	LCDスクリーンに明るいスポットがあります。	<ul style="list-style-type: none">• 電源を入れ直します。• ピクセルが永久的に抜けているのは、LCD技術では当然起こりうる欠陥です。• Dellモニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dellサポートサイト http://www.dell.com/support/monitorsを参照してください。

輝度の問題	画像が暗すぎるまたは明るすぎる	<ul style="list-style-type: none"> • モニターを工場出荷時設定にリセットします。 • OSDで輝度とコントラストコントロールを調整します。
安全に関連する問題	煙または火花が見える	<ul style="list-style-type: none"> • 問題解決のあらゆる手段を実行してはいけません。 • Dellに連絡してください。
時々とぎれる問題	モニターがオン/オフの不調	<ul style="list-style-type: none"> • モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 • モニターを工場出荷時設定にリセットします。 • モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、とぎれる問題がセルフテストモードでも現れるかどうか確かめます。
色が出ない	画像に色が無い	<ul style="list-style-type: none"> • モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。 • モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 • ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。
色がおかしい	画像の色が良くない	<ul style="list-style-type: none"> • 色設定OSDで異なる色プリセットモードを試します。 • 色設定OSDで、入力カラー形式をRGBまたはYPbPrに変更します。 • ビルトイン診断を実行します。
静止画像を長時間モニターに映していたことによる画像の残像	静止画像の薄い影が画面上に表示される	<ul style="list-style-type: none"> • 電源管理機能を使用して、使用しないときはモニターを常に切るようにします(詳細については、電源管理モードを参照してください)。 • 代わりに、動的に変化するスクリーンセーバーを使用して下さい。

製品固有の問題

固有の症状	何が発生するか	可能な解決策
画面の画像が小さすぎる	画像は画面の中央にあるが、全表示エリアを占めていない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 画面設定OSDで、アスペクト比設定を確認します。 ● モニターを工場出荷時設定にリセットします。
前面パネルのボタンを使用してモニターを調整できない	OSDが画面に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターの電源を切り、電源コードを抜き、もう一度差し、モニターの電源を入れます。
ユーザーコントロールが押されると、入力信号なし	画像なし、LEDライトは白。	<ul style="list-style-type: none"> ● 信号ソースを確認します。マウスを動かすかキーボードのキーをどれか押して、コンピューターが省電源モードにないかを確認します。 ● ビデオソース対DisplayPort、またはMini DisplayPort、またはHDMIの電源がオンになっており、ビデオメディアを再生しているかを確認します。 ● 信号ケーブルが正しく差し込まれているかどうか、確認してください。必要に応じて、信号ケーブルを差し込み直してください。 ● コンピューターまたはビデオプレイヤーをリセットします。
画像が全画面に表示されない	画像が画面の縦横すべてを使って表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● DVDの異なるビデオ形式(縦横比)のため、モニターは全画面表示しません。 ● ビルトイン診断を実行します。
POST画面またはVBIOS設定が表示されない	起動時にPOST画面またはVBIOS設定が省略されることがあります	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターのスリープモードを無効にし、PCを再起動します。 ● エネルギー設定OSDでモニターのスリープをオフにしてからPCを再起動すると、POST画面またはVBIOSが表示されます。

<p>PCにDP接続を使用しているとき、画像が表示されない</p>	<p>ブランク画面</p>	<ul style="list-style-type: none"> • どのDP標準(DP1.1aまたはDP1.2)がグラフィックスカードで認定されているか確認します。最新のグラフィックスカードドライバをダウンロードして、インストールします。 • DP1.1aグラフィックスカードの中には、DP1.2モニターをサポートできないものもあります。モニター設定をDP 1.2からDP 1.1aに変更するには、OSDメニューを開いて、入力ソース選択でDP選択√キーを8秒間押し続けます。
-----------------------------------	---------------	--

カードリーダーのトラブルシューティング

△ **警告:** メディアに情報の書き込み、または読み取りが行われている間にデバイスを外すと、データが失われたり、メディアの故障の原因となります。

問題	原因	解決策
ドライブ文字が指定されない。 (Windows® XPのみ)	ネットワークドライブ文字が競合しています。	<ul style="list-style-type: none">- デスクトップでマイコンピュータアイコンを右クリックします。- 管理をクリックします。- 表示されるコンピューターの管理ウィンドウで、ディスクの管理を選択します。- 右パネルに表示されるドライブリストで、リムーバブルドライブを右クリックしてから、ドライブ文字とパスの変更をクリックします。- 変更を選択して、表示されるドロップダウンリストでリムーバブルドライブに使用するドライブ文字を指定します。 <p>注意: ドライブ文字を選択するときには、マップ済みのネットワークドライブに割り当てられていない文字を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none">- OKをクリックして、表示される画面でもう一度OKをクリックします。
ドライブ文字は指定されるが、メディアが読み取れない	メディアを再度フォーマットする必要があります。	<ul style="list-style-type: none">• エクスプローラでドライブを右クリックし、表示されるメニューからフォーマットを選択します。

<p>書き込み中または削除中に、メディアが排出される。</p>	<p>エラーメッセージ、「ファイルまたはフォルダーのコピーエラー」が表示されます。書き込み中にエラーメッセージ「フォルダー(フォルダー名)またはファイル(ファイル名)を書き込めません」、または「フォルダー(フォルダー名)またはファイル(ファイル名)を削除できません」が表示されず。削除中に、同一のフォルダーまたはファイル名で書き込みまたは削除を行えません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • メディアを挿入し直して、書き込みまたは消去を再度行ってください。 • 同一のフォルダーまたはファイル名を書き込む、または削除するために、メディアをフォーマットします。
<p>ポップアップウィンドウは消えたが、LEDが点滅中にメディアが排出される。</p>	<p>書き込み中にポップアップウィンドウが消えても、LEDがまだ点滅中にメディアを排出すると、メディアに対する操作を完了できません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 同一のフォルダーまたはファイル名を書き込む、または削除するために、メディアをフォーマットします。
<p>メディアに対してフォーマットまたは書き込みを行えない。</p>	<p>書き込み保護スイッチがオンになっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • メディアの書き込み保護スイッチのロックが解除されていることを確認します。
<p>カードリーダーが動作しない</p>	<p>USBインターフェースが動作していません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • モニターの電源がオンになっているかチェックします。 • コンピューターからモニターへのアップストリームケーブルを接続し直します。 • メディアを挿入し直します。 • モニターのスイッチをオフにしてから、再度オンにします。 • コンピューターを再起動します。

付録

危険：安全上の注意

 **危険：**この説明書で指定された以外の制御、調整、手順の使用は、感電、電気事故、機械的な事故に繋がる可能性があります。

安全指示については安全、環境、および規制情報 (SERI) をご覧下さい。

FCC通知 (米国のみ) およびその他規制情報

FCC通知およびその他の規制情報については、
規制コンプライアンスWebサイト http://www.dell.com/regulatory_compliance.

Dellに連絡

米国内のお客様は、800-WWW-DELL (800-999-3355)にお電話下さい。

 **注意：**有効なインターネット接続がない場合には、連絡情報は仕入請求書、荷造伝票、請求書、Dell製品カタログに掲載されています。

Dellでは複数のオンライン、電話によるサポートとサービスオプションを提供しています。国や製品によってサービスが利用できるかどうか異なります。また、一部のサービスはお住まいの地域では提供していないことがあります。販売、技術サービス、顧客サービスについてDellに連絡する場合は、下記にご連絡下さい。

1. <http://www.dell.com/support/>にアクセスします。
2. ページの一番下の国/地域の選択ドロップダウンメニューから、お住まいの国または地域を確認します。
3. ページの左側にあるお問い合わせをクリックします。
4. 適切なサービスまたはサポートリンクを必要に応じて選択します。
5. 都合の良いDellへの連絡方法を選択します。

モニタのセットアップ

画面解像度を3840×2160(最大)に設定する

最高のパフォーマンスを達成するには、次のステップを実行してディスプレイ解像度を3840 x 2160ピクセルに設定します。

Windows® 7、Windows® 8/Windows® 8.1/Windows® 10 では：

1. Windows 8およびWindows 8.1の場合のみ、デスクトップタイルを選択してクラシックデスクトップ表示に切り換えます。
2. ディスプレイの設定の変更をクリックします。
3. 画面の解像度のドロップダウンリストをクリックし、3840 x 2160を選択します。
4. OKをクリックします。

オプションに推奨されている解像度が表示されない場合、グラフィックドライバーを更新する必要がある場合があります。使用しているコンピューターシステムを最もよく表しているものを以下から選択し、与えられた手順を実行してください。

Dellコンピューター

1. www.dell.com/support/に行き、サービスタグを入力し、グラフィックカード用の最新ドライバをダウンロードします。
2. グラフィクスアダプターにドライバをインストールした後、解像度を再び**3840 x 2160** に設定してみてください。

 **注意：** 解像度を3840 x 2160に設定できない場合、Dellに連絡しこれらの解像度をサポートするグラフィクスアダプターについてお尋ねください。

Dell-以外のコンピューター

Windows® 7、Windows® 8/Windows® 8.1/Windows® 10 では：

1. Windows 8およびWindows 8.1の場合のみ、デスクトップタイルを選択してクラシックデスクトップ表示に切り換えます。
2. デスクトップで右クリックし、「ディスプレイの設定を変更する」をクリックします。
3. 詳細設定をクリックします。
4. ウィンドウの上部にある説明で、お使いのビデオカードメーカー（NVIDIA、ATI、Intelなど）を識別します。
5. グラフィックカード製造業者のWebサイトへ行き、更新されたドライバを見つけます(例えば<http://www.ATI.com>または<http://www.NVIDIA.com>)。

6. グラフィックスアダプターにドライバをインストールした後、解像度を再び3840 x 2160に設定してみてください。

 **注意:** 推奨された解像度を設定できない場合、コンピュータの製造元にお問い合わせになるか、ビデオ解像度をサポートするグラフィックスアダプタの購入を考慮してください。